

# 報アノ口

令和3年6月1日  
第106号  
栗山町開拓記念館

## 新聞記事で見る栗山町の出来事(1)

栗山町開拓記念館は栗山町開基百年を記念して建設され、一九八八年(昭和六三年)九月に完成し一般公開された。以来当館では資料収集に努め、その一環として新聞に掲載された栗山町関係の記事を切り抜き保存している。

開基百年を盛大に祝ってから既に三十二年、新聞記事はその時々事柄がほぼリアルタイムで掲載されていて貴重な資料となっている。

ここに記事となった主な出来事を列記し三十数年前を振り返るとしたい。  
なお、悲惨な事件・事故等は割愛とした。

### ●一九八八年(昭和六三年)

・九月十八日

郷土の歴史を一同に 記念館オープン  
総事業費約二億六千二百万円で建設。常設展示室・特別展示室などで構成され、開拓当時の農作業や、昭和初期の小学校の授業の様子、又、明治から戦前にかけての住民の生活ぶりをパネル等で紹介。開館式には町長、議長をはじめ八十人余りが出席し、テープカットのあと館内を見学した。

・九月十九日

栗山で町開基百年記念式典  
栗山中三年と継立中三年の代表が町民憲章を朗読。桂町長の式辞のあと、特別功労者の則武基雄氏と百五歳の元木ヒサ氏ら七人に開拓功労賞を贈呈した。

・九月二十日

独自のまちづくり提案 青年会議所  
栗山青年会議所が二十一世紀に向けたまちづくりの構想をまとめ、このほど桂町長に提案した。  
これは同会議所が今年で創立二十年を迎えたのを機に立案されたもので『ゆっくり愛らんど栗山』と名付けられている。

・十月七日

全道高校女子駅伝 開催へ準備着々  
第四回全道高校女子駅伝大会が十六日、栗山町内で開かれる。同大会の栗山開催は三回目、当番の栗山高校は準備に懸命だ。



第4回全道高校女子駅伝大会

・十月十一日

地蔵修復で開眼供養  
御大師山の八十八ヶ所霊場の破損していた地蔵が、御大師山を愛する会により修復され、開眼供養が行われた。  
道内でも有数の歴史を誇る同霊場も近年は破損が目立っていた。

・十月十七日

田園コースで熱戦  
全道高校女子駅伝に全三十二チームが出場。優勝は室蘭大谷、栗山は十九位だった。  
・十一月十一日  
ホタル大きく育て 役場庁舎に水槽設置  
栗山にホタルの安住の地を、と結成されたホタル救援隊が、役場庁舎のロビーに水槽を設置し、ホタルの幼虫飼育に乗り出した。  
これは、栗山ダム completion で絶滅が心配されるヘイケボタルを水槽で繁殖させ、幼虫を御大師山のふもとに放流し、盛夏には幻想的な光景を演出する予定となっている。

・十一月十七日

祖父母参観「テレビ授業」びっくり  
栗山町立角田小で十六日、祖父母たちの授業参観が行われた。  
学校の問題を親子だけでなく、おじいさん、おばあさんたちまで広げようと初めて行った。テレビを使った授業に驚いたり、複数の孫がいるために教室をかけるもちで回ったりした。  
児童たちもいつもとは違う参観に大張り切りだった。



北海道介護福祉学校校舎

・十一月十八日  
ふるさと史跡正しく後世へ  
町の歴史に深いかかわりがある十三ヶ所にこのほどふるさと史跡案内板と石碑が設置された。  
石碑の頂点には由来を記したプレートが貼ってある。

・十二月十四日

石黒ホーム 栗山へ進出計画  
道内には直営店十七店、フランチャイズ店一店を持つ同社は、来年十二月に栗山町での開店を目指している。

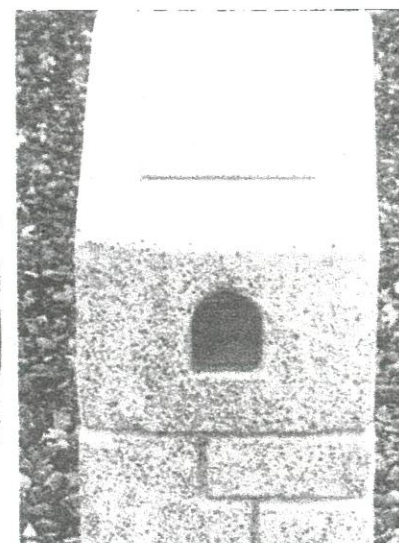
### ●一九八九年(昭和六四年・平成元年)

・一月四日

介護福祉学校校舎建設が大詰め  
昨年七月から進められてきた介護福祉学校建設工事が大詰めを迎え内装の仕上げに入った。国家資格の介護福祉士を目指す同校生徒百六名は設備が整った新校舎で学ぶこととなる。



史跡案内板(角田渡船場跡)



石碑(水田発祥の地)

・二月一日

**栗山駅前再開発基本構想をまとめる**  
町の商業の中心をなす駅前通り再開発基本構想がまとまり、商工会議所は関係者に発表した。街並みを一新しようとするもので、その成行きが注目される。

・二月十日

**中原篤氏道木彫工芸展で優秀賞**

栗山町鳩山の中原篤氏の木彫作品が、札幌・丸井今井デパートで開催された『道伝統木彫工芸展』で優秀賞の道知事賞を受賞し、その作品を携えて役場に挨拶に訪れた。

作品は「シマフクロウ」。親子三羽のシマフクロウが木のほら穴で生活する姿をシコロの木で彫り上げたもの。高さ四十センチで木目を生かしながら、野生動物の力強さ、親子のつながりの温かみを感じさせる見事な作品である。

・二月十八日

**愛きようたつぷり栗山署に大雪像**

栗山署の正面入り口に十七日、大きな雪像がお目見えした。

交通安全キャラクターの「無事カエル（帰る）」のデザインを借用したもので、署員がアイデアを出し合って三日がかりで完成させ、訪れる人たちの目を楽しませている。

・三月三十日

**御大師山を巡る遊歩道完成**

御大師山のふもとを巡って栗山公園とスキー場をつなぐ遊歩道がこのほど完成した。これにより公園―展望台―スキー場と一巡することが可能になり、町の人たちの絶好の散策路になるものと期待されている。



遊歩道（公園側）

・四月十九日

**電話交換機をデジタル化  
新サービスが可能**

NTT栗山営業所で、電話交換機のデジタル化工事が進められており、情報時代に対応が可能となる。



自作のレンガを運ぶ栗山小5年生児童

・五月十七日

**時計塔飾る自作レンガを現場に運ぶ**

栗山小の全校児童が、校庭で進められている開校九十周年記念時計塔の建設現場に、自分たちが作ったレンガを運んだ。このレンガにはそれぞれに名前や漫画等が刻み込まれた楽しいレンガだ。塔が完成すると六月の運動会の日に除幕式が予定されている。

・六月二十八日

**姉妹都市角田市から視察団**

栗山町の姉妹都市・宮城県角田市の市長らが来町し、町開拓記念館や泉記念館などを見学した。

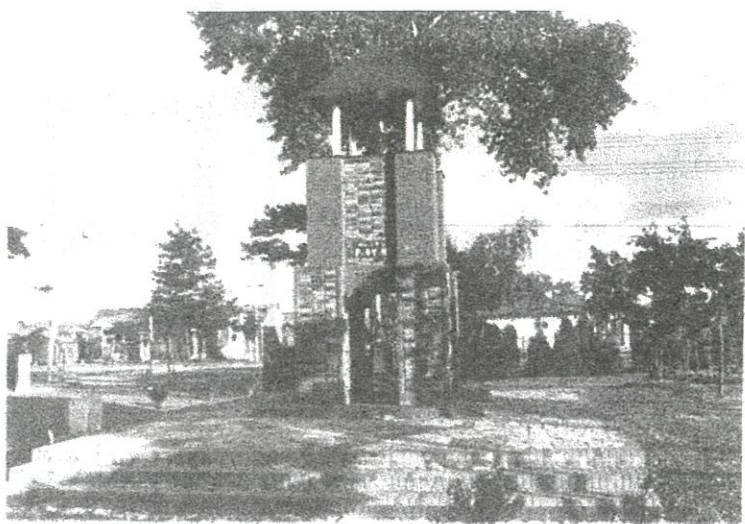
記念館では両者のつながりを物語る文書や写真が多くあり熱心に見入っていた。

・八月二十三日

**知事のふるさと訪問 オオムラサキ見学**

空知での「ふるさと訪問」で横道知事は栗山オオムラサキの会の昆虫飼育小屋を見学した。

この夏生まれただけのオオムラサキの幼虫がいる枝を手にし、越冬の事や羽化する時期などを質問していた。



完成した記念時計塔

・十月一日

**町内初 温泉源堀り当てる**

栗山観光ホテルの敷地内で、温泉に活用できる源泉が地下八百メートルで発見され、公開された。

温度はやや低い、神経痛などに効果がある成分が含まれており、同ホテルは施設の増設などの準備に取りかかった。

●一九九〇年（平成二年）

・二月二十日

**杵臼小麦畑でスキー大会**

杵臼小のスキー大会が十八日、桜山地区の農業橋場利勝さんの畑で開かれた。栗山スキー場は遠いことから二十年ほど前から続けられている。

一週間ほど前から児童とPTAの人たちが雪を踏み固めて大会に備えた。大会には地元の中生や父母たちも参加し楽しい一日を過ごした。

・三月九日

**北海道介護福祉学校で第一回卒業式**

明るく愛され、そして愛と思いやりのある介護福祉士の養成を目指して開校した町立北海道介護福祉学校の第一回卒業式が、空知支庁をはじめ多数の来賓が出席のなか、三月八日、同校講堂で行われた。

真の介護を学んだ男子七十人、女子三十四人が卒業し、それぞれ福祉施設を中心とした職場へ巣立った。



卒業を迎えた学生たち